

謹賀新年

新春のお慶びを

申し上げます

代表理事組合長	三上道廣
専務理事	大場勉
理事金融共済部長	花田敏幸
総務委員長	成田勝弘
りんご委員長	福島憲一
組織代表農業委員	花田勇人
りんご委員	三上誠
総務委員	田澤俊則
代表監事	清野護
監事	溝江徹
員外監事	盛浩一

他職員一同

おかげさまで50年、これからも

地域の皆さんと共に



相馬村農業協同組合

代表理事組合長 三上道廣

新年あけましておめでとうございます。組合員及び地域住民の皆様とともに輝かしい新年を迎えられたことに謹んで祝詞を申し上げます。また、日頃より農協の各事業におきましては、格別なるご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、大規模な補正予算の編成に取組むなど経済再生を最優先した結果、一部で景気浮揚が見られましたが、地方まではいまだ浸透していない感があります。また、増税先送り等で年末に「アベノミクス解散」と称して過去2年間の実績の是非を問うため衆議院選挙を開催し、経済政策の継続を訴えた与党が圧勝し国民の信任を得た景気浮揚策が第2幕に入りました。デフレ脱却を確実にし、平成29年4月に延期していた消費税10%への増税に耐えうる環境づくりができるか手腕を問われています。

一方で農業をめぐる情勢については、低価格志向や原油価格の高騰、電力料金の値上げなど農業経済はいまだ厳しい状況にある中で、TPP交渉においては非常に厳しい立場にあり、また、農協改革においても先行きは不透明なものとなっています。

このような中、当農協の主力作物であるりんごについては、春先から天候が比較的順調に推移したことにより着色や肥大に恵まれ近年になく良好に出来上がったものの、夏場に降雨が多かったことにより「ふじ」を中心

にツル割れ果が見られた中で、入庫実績822,799箱（前年対比121%）となりました。

また、水稲についても比較的順調に生育し、自主流通米で6,264俵（前年対比104%）という結果になりましたが概算価格で昨年を大きく下回り、7,800円台と非常に厳しい状況となりました。

りんごの販売については、早生種のつがる及び早生ふじ系で販売が苦戦を強いられました。

これからは年明け以降の販売に期待するわけですが、果物全般に豊作基調のため消費形態は先行き不透明となっております。主力のサンふじを中心にキャンペーン等による消費拡大を図り、高値販売に取組んでまいります。

また、弘前市の協力を得て冬期間農道の除雪を本年も継続して実施してまいります。

一昨年度の総会でご承認いただいた「経営・振興三ヶ年計画」及び標題の早期目標達成に向けて役員一丸となって取組んでまいります。

本年も大きな災害の無いことと、組合員及び地域住民の皆様が健やかで笑顔に暮せることを願い新年のあいさつといたします。